

学校独自検査問題は著作権の対象となっており，著作権法で保護されています。「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き，無断で複製・転用等することはできません。

平成 27 年 度

宮城県公立高等学校入学者選抜
前期選抜 学校独自検査問題
(仙台第二高等学校)

小 論 文

(第 4 時 13:00 ~ 13:50)

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、開いてはいけません。
- 2 解答用紙は、中にはさんであります。
- 3 「始め」の合図があったら、まず別紙の解答用紙を開き、受験番号を書きなさい。
- 4 問題は、6 ページまであります。
- 5 問題は、第一問から第三問まであります。
- 6 答えは、すべて別紙の解答用紙に書き入れなさい。
- 7 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおきなさい。

第一問

次の【表】は日本の貿易を示したものである。【表】をみて、(1)、(2)の問いに答えなさい。

【表】日本の貿易額・輸出入品(2011年)(百万ドル)

	貿易額	主要輸入品と主要輸出品の輸入額・輸出額に占める割合(%)				
輸入	854,098	原油16.6	電気機械13.7	液化天然ガス7.0	一般機械4.6	衣類3.9
輸出	822,564	一般機械19.6	自動車17.7	電気機械17.4	精密機械5.8	鉄鋼5.7

(1) 日本の主要輸入品のひとつは原油である。原油に関して【資料1】～【資料3】をみて、次の～に答えなさい。

【資料1】は、原油産出量の上位国を示したものである。(A)に該当する国を下のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア インド イ アラブ首長国連邦 ウ ロシア エ オーストラリア

【資料2】は、日本の原油輸入相手国の上位を示したものである。輸入相手国の特徴と日本の原油輸入に関する問題点を50字以内で説明しなさい。

【資料3】は、日本の石油化学コンビナートの所在地を示したものである。石油化学コンビナートの立地の特徴とその理由を50字以内で説明しなさい。

(2) 日本の主要輸出品のひとつは自動車である。自動車に関して【資料4】～【資料7】をみて、次の～に答えなさい。

【資料4】は、自動車生産台数の上位国を示したものである。(B)に該当する国を下のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 中国 イ インド ウ ロシア エ ブラジル

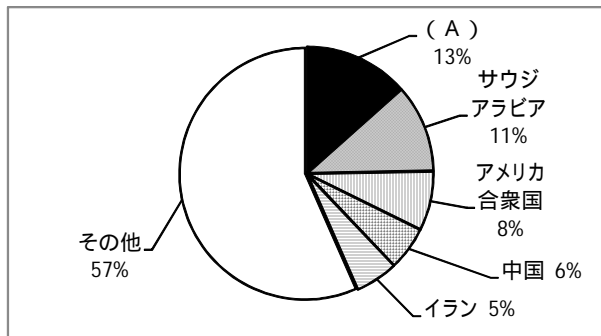
【資料5】は、自動車などの輸送用機械器具の出荷額上位5都道府県を示したものである。(C)に該当する都道府県を【地図】のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

【資料6】は、日本の自動車輸出相手国の上位を示したものである。(D)に該当する国を下のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

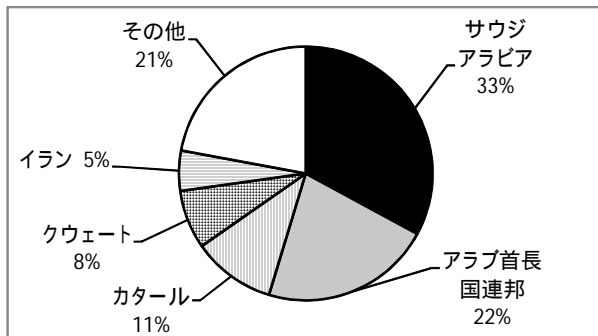
ア インド イ サウジアラビア ウ ドイツ エ アメリカ合衆国

【資料7】は、日本の主な自動車会社の海外生産比率を示したものである。海外生産比率はどのような傾向にあるか、またそれにともない考えられる問題点を80字以内で説明しなさい。

【資料1】原油産出量（2010年 36.1億トン）



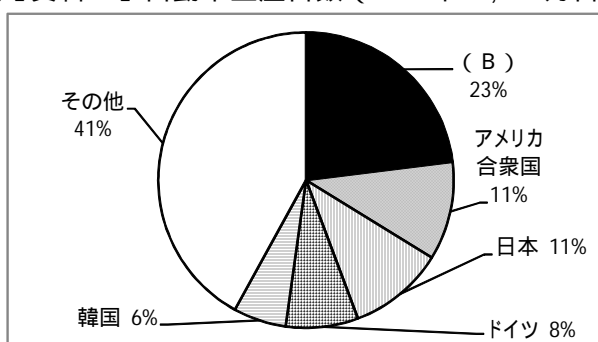
【資料2】日本の原油輸入額（2012年 12.2兆円）



【資料3】石油化学コンビナート所在地（2012年末現在）



【資料4】自動車生産台数（2011年 7,999万台）

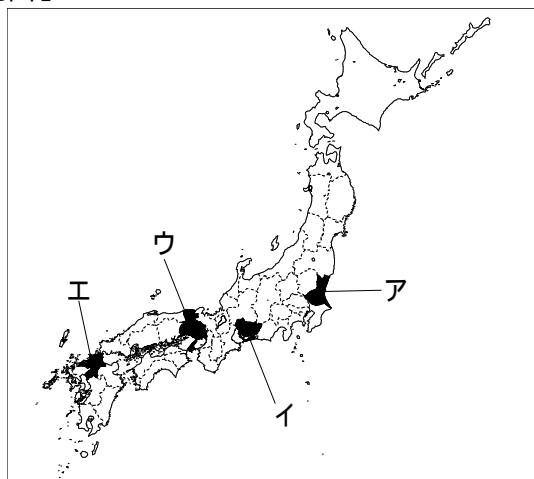


【資料5】輸送用機械器具の出荷額

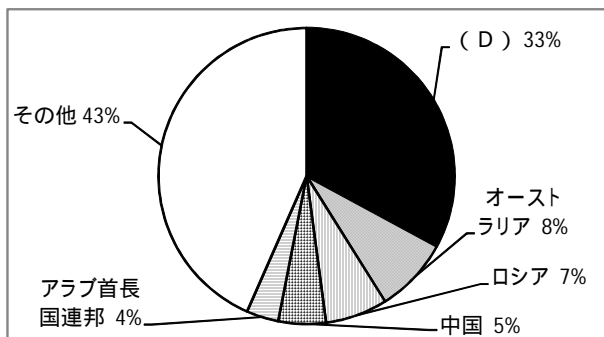
上位5都道府県（2011年）

都道府県	出荷額 (兆円)
静岡	3.895
神奈川	3.625
広島	2.415
群馬	2.377
全国	50.587

【地図】



【資料6】日本の自動車輸出額（2012年 9.2兆円）



【資料7】日本の主な自動車会社の海外生産比率

メーカー	項目	1990年	2000年	2011年
T社	総生産台数	4,028	5,174	6,929
	海外生産比率	0.0%	33.9%	60.2%
N社	総生産台数	2,380	2,614	4,834
	海外生産比率	0.0%	49.7%	75.2%
H社	総生産台数	1,375	2,541	3,135
	海外生産比率	0.0%	51.4%	72.2%

（注1）総生産台数 = 国内生産台数 + 海外生産台数

（注2）海外生産比率 = 海外生産台数 / 総生産台数

（単位 千台）

【表】及び【資料1】、【資料2】、【資料4】～【資料7】は『2014データブック オブ・ザ・ワールド』より作成

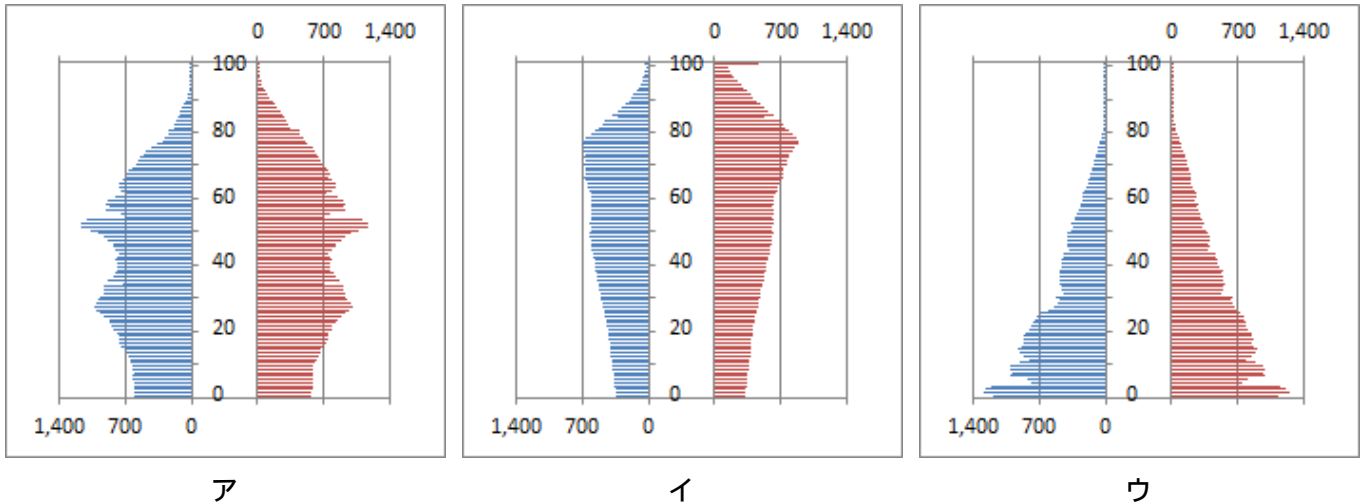
【資料3】は『日本国勢図会2014/15』より作成

第二問

現在の日本では少子高齢化が進んでいる。このことについて、(1)～(3)の問いに答えなさい。

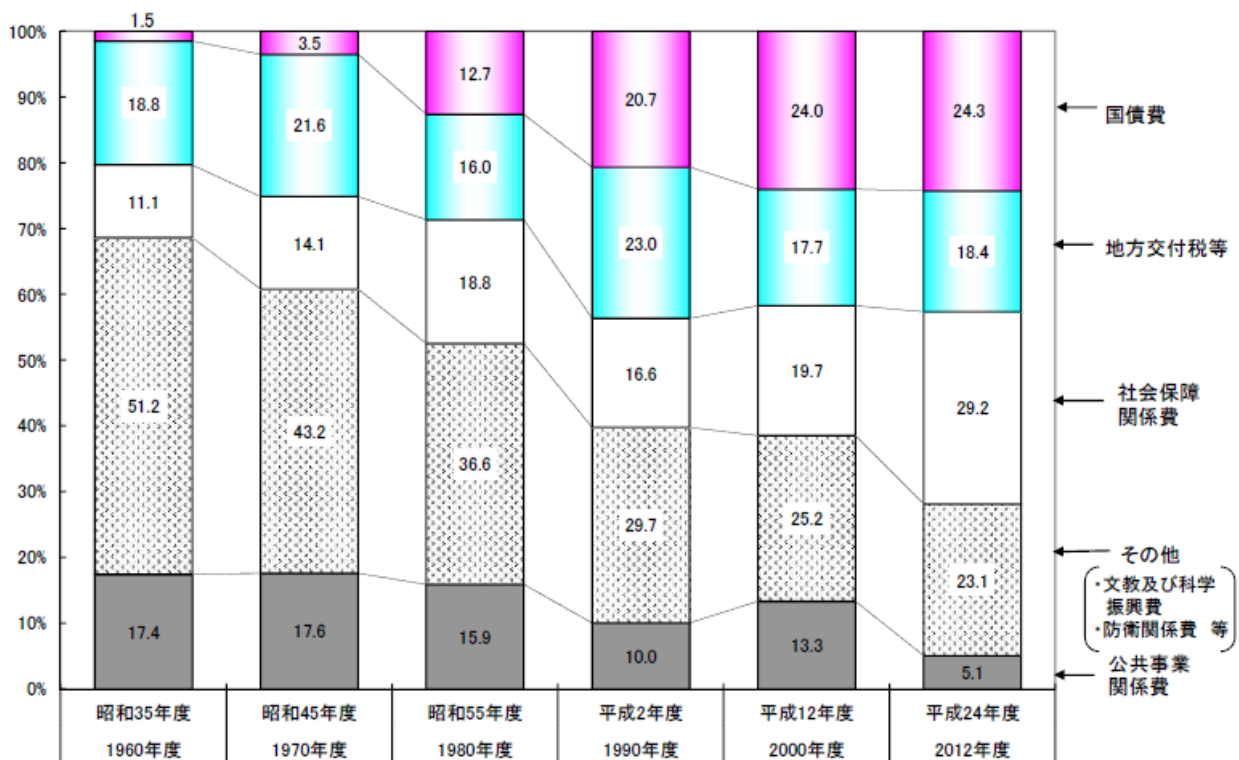
(1) 【資料8】は日本の人口を年齢別に示したグラフであり、ア、イ、ウは、1950年、2000年、2050年(予測)のいずれかの年のグラフである。ア～ウを年代の古い順に並べなさい。

【資料8】日本の年齢別人口(いずれのグラフも縦軸は年齢(単位:歳。ただし、「100」には100以上の数値を含む。)、横軸は左側が男性の人口、右側が女性の人口(単位:千人)を示す。)



(2) 【資料9】は日本の財政支出に占める主要経費の割合の推移のグラフである。【資料8】及び【資料9】をふまえて、少子高齢化が日本の財政と国民生活に与える影響について、100字以内で説明しなさい。

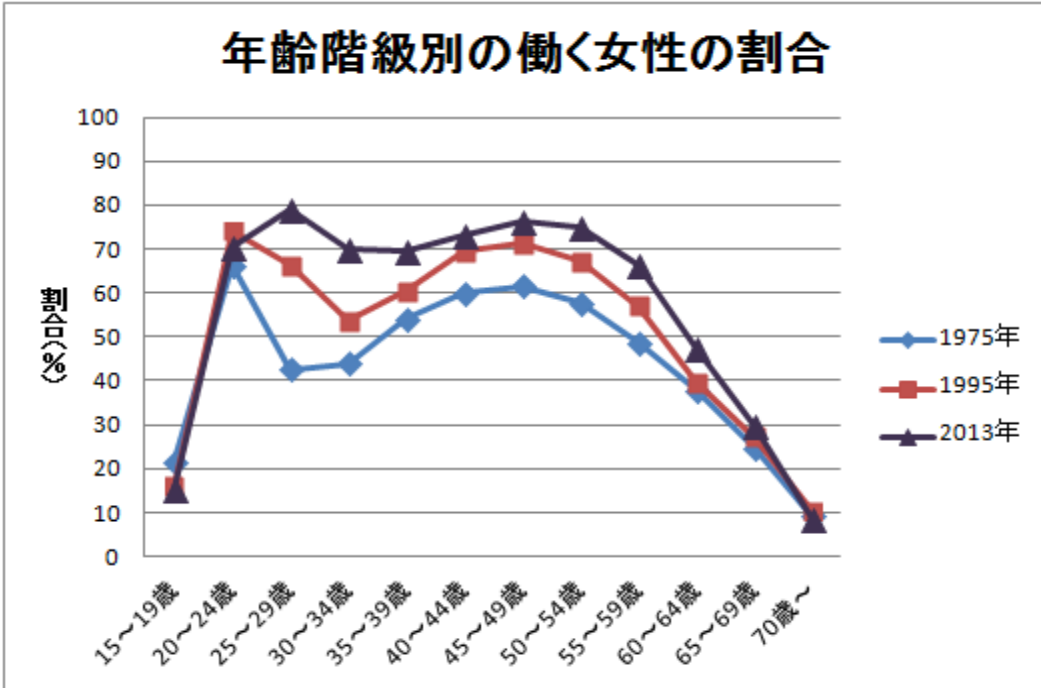
【資料9】日本の財政支出に占める主要経費の割合(単位:%)の推移



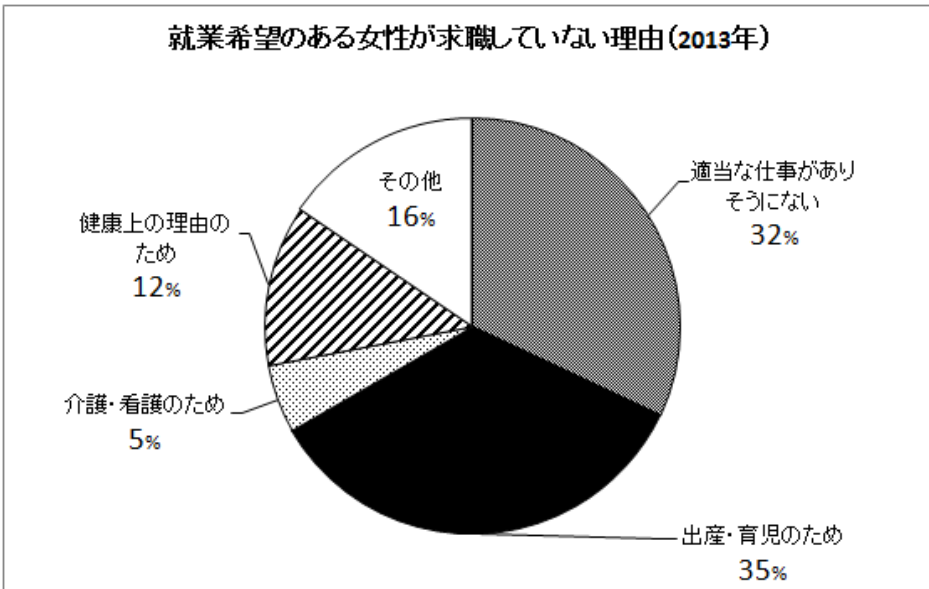
(注)平成12年度までは決算,24年度は政府案による。

(3) 【資料10】は日本の年齢階級別の働く女性の割合を示したグラフである。また【資料11】は職に就きたいと思っている女性のうち、求職活動をしていない人の理由別の割合を示したグラフである。現在日本は、男女共同参画社会の形成を目指している。【資料10】及び【資料11】をふまえて、日本における少子化問題を解決するための工夫を100字以内で述べなさい。

【資料10】



【資料11】



【資料8】は総務省統計局『国勢調査報告』及び国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口(平成14年1月推計)』より作成

【資料9】は財務省主計局『我が国の財政事情(平成24年度予算政府案)』より

【資料10】は総務省統計局『労働力調査』より作成

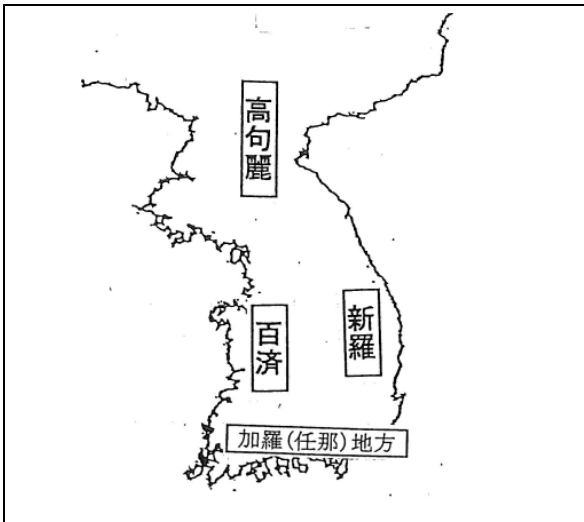
【資料11】は『平成26年版男女共同参画白書』より作成

第三問

私たちの住む日本は、ユーラシア大陸の東方に浮かぶ島国である。しかしながら、古代以来、日本（倭国）は、東アジア諸国とりわけ朝鮮半島の人々と様々な交流を続けてきている。このことについて、(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 4～6世紀における朝鮮半島の政治的状況、半島の人々と日本（倭国）との関わり及びその影響について、【資料12】を参考にして、150字以内で説明しなさい。

【資料12】



ア) 4世紀における朝鮮半島



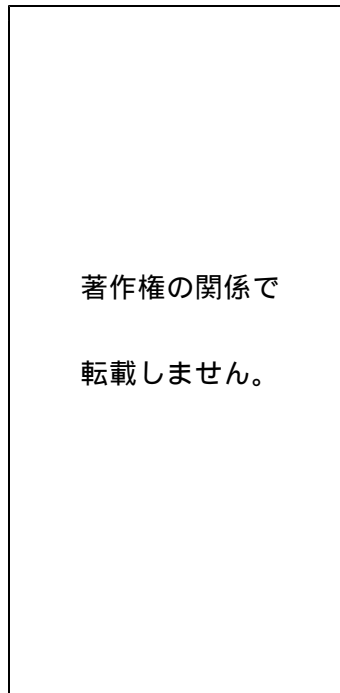
イ) 鉄製の甲冑や刀

(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
Webページより)

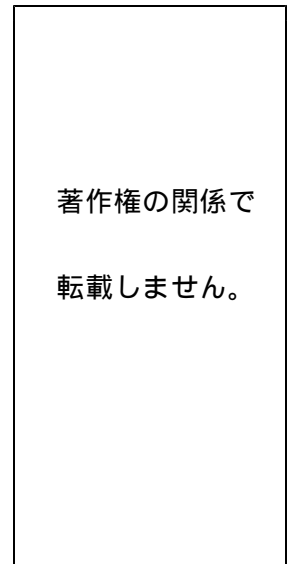


ウ) 高度な技術で作られた土器（須恵器）の壺や高杯など

(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
Webページより)



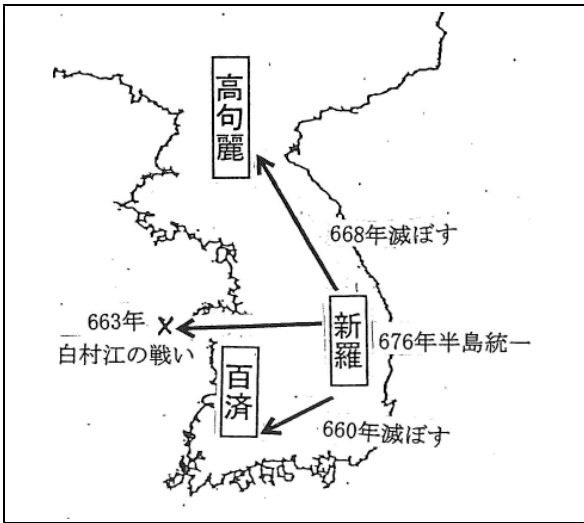
エ) 京都広隆寺の仏像



オ) 朝鮮半島の仏像

(2) 7世紀における朝鮮半島の政治的状況の変化と、それに対する日本の関わり及びその後の日本への影響について、【資料13】を参考にして、150字以内で説明しなさい。

【資料13】



から衣すそに取らつき泣く子らを
 置きと来ぬ母なごころ

ア) 7世紀における朝鮮半島

イ) 防人の歌 (『万葉集』より)



ウ) 九州北部の模式図
 (水城・大野城・基肄城1350年事業 Webページより)

受田二町二段六十歩	口、一十六	口四課	口一十二不課	女卜部麻呂売年一歳	女卜部羊売年九歳	女卜部赤売年十三歳	女卜部比佐豆売年十八歳	男卜部平許自年二歳	男卜部赤猪年十六歳	男卜部黒年十七歳	妻中臣比多米売年三十七歳	従父弟卜部方名年四十六歳	女卜部平智吾良売年十三歳	女卜部智吾良売年十六歳	男卜部和智志年六歳	男卜部久漏麻呂年十九歳	妻卜部甫西豆売年四十七歳	戸主卜部乃母曾年四十九歳	母葛野部伊志売年七十四歳
				緑女	小女	小女	次女	緑児	小丁	少丁	丁妻	正丁	小女	小女	小丁	少丁	丁妻	老女	正丁

エ) 大宝2年 (702年)作成の戸籍の一部 (『正倉院文書』より)

筑前国嶋郡戸籍川辺里 大宝二年